

評価者	都市整備部	樋田 浩一
-----	-------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	水辺環境の整備・創出・管理
目標とすべきまちの姿	局所的な集中豪雨等が生じて、河川は氾濫することなく市民は安全に生活しています。また、河川津波遡上対策により、津波被害がほとんど発生しない状況となっています。水辺には動植物が生息し、市民の憩いの場となっており、景観にも配慮した観光都市にふさわしい水辺環境となっています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	23.0%	平成30年度(2018年度)	27.6%	平成29年度(2017年度)	26.2%
	平成28年度(2016年度)	23.6%	平成27年度(2015年度)	27.8%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	0.5%	0.6%
ちょうどよい	0.8%	52.3%	1.6%
効果不十分	1.0%	3.2%	10.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.7%	0.3%	0.5%
ちょうどよい	1.7%	48.8%	0.8%
効果不十分	1.7%	2.3%	10.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	0.7%	0.0%
ちょうどよい	1.1%	53.3%	0.2%
効果不十分	1.2%	2.6%	9.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	0.9%	0.2%
ちょうどよい	1.4%	55.2%	0.7%
効果不十分	1.1%	3.4%	8.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.6%	0.9%	0.1%
ちょうどよい	0.7%	53.2%	1.1%
効果不十分	0.7%	2.3%	6.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	21.3%	48.3%	1.1%	29.3%
平成30年度(2018年度)	18.2%	48.3%	1.3%	32.2%
平成29年度(2017年度)	16.3%	51.0%	1.4%	31.3%
平成28年度(2016年度)	13.9%	56.5%	1.1%	28.6%
平成27年度(2015年度)	14.4%	50.9%	1.4%	33.2%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

①河川管理施設の維持修繕業務や維持修繕工事については、適切かつ的確に実施する。(都整-34、35)
 ②普通河川、準用河川及び雨水調整池のしゅんせつについては、費用対効果を考慮して計画的に実施し、施設機能の確保を図る。また、定期点検結果を基に適切な時期に実施するなど維持管理に努める。(都整-34、35)
 ③老朽化の進行が懸念される河川・蓋掛け水路・調整池等の効率的な維持管理のため、平成30年度施設調査の結果を踏まえ、詳細調査を実施する。(都整-34)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①②河川施設の維持修繕業務、維持修繕工事や、普通河川、準用河川及び雨水調整池のしゅんせつは、安全な市民生活を保つ。(都整-34.35)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
都整-10	河川管理運営事業	1,474	1,489	0.6	0.6	無	b	B
都整-34	河川維持補修事業	81,956	55,461	1.0	1.0	無	b	A
都整-35	雨水施設維持管理事業	3,425	3,783	0.3	0.3	無	b	A

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

①普通河川滝ノ川等の維持修繕業務を実施した(都整-34)
 ②準用河川小袋谷川等のしゅんせつを実施した。また、機器が良好に作動するよう適正な維持管理に努めた(都整-34、35)
 ③老朽化の進行が懸念される河川の効率的な維持管理のために、詳細調査を実施した。(都整-34)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・迅速な対応を図るため、河川維持管理協力団体及び市職員による定期的な巡回を実施した。(都整-34、35)
- ・河川管理施設の維持修繕業務等については、安全性を考慮しつつ、低廉な工法を選定し実施した。(都整-34、35)

雨水調整池やゲートの類等の雨水排水施設について定期点検及び自主点検を行い良好な状態を保持した。(都整-35)

準用河川及び調整池のしゅんせつを行い良好な状態を保持した。(都整-34、35)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	都整-34	事業名	河川補修事業							
指標の内容	準用河川の修繕					単位	m	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
準用河川において継続的な修繕が必要なため。	目標値	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0			
	実績値	23.0	27.0	15.2	0.0	91.4	0.0			
	達成率	65.7%	77.1%	43.4%	0.0%	261.1%	0.0%			

整理番号	都整-35	事業名	雨水施設維持管理事業							
指標の内容	ゲート類の点検					単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
浸水対策としてゲート類の良好な機能維持が必要なため。	目標値	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0			
	実績値	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			

整理番号	都整-35	事業名	雨水施設維持管理事業							
指標の内容	雨水調整池の浚渫					単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
浸水対策として雨水調整池の浚渫は継続的な対応が必要なため。	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
	実績値	1.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
	達成率	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			